

株式会社ココカラファイン

2021 年 3 月期決算説明会

2021 年 5 月 21 日

イベント概要

[企業名]	株式会社ココカラファイン		
[企業 ID]	3098		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2021 年 3 月期決算説明会		
[決算期]	2020 年度 通期		
[日程]	2021 年 5 月 21 日		
[ページ数]	38		
[時間]	15:00 – 15:31 (合計：31 分、登壇：31 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	塚本 厚志	(以下、塚本)
	執行役員 管理本部総務部長	森 俊一	(以下、森)

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

2021年10月 統合会社の新社名

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

グループ理念

未来の常識を創り出し、
人々の生活を変えていく

グループビジョン

美しさと健やかさを、
もっと楽しく、身近に。

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 4

塚本：社長の塚本厚志でございます。私からは株式会社マツモトキヨシホールディングスとの経営統合について、そして2021年3月期決算概況および主な取り組みについてご説明申し上げます。

最初に、マツモトキヨシホールディングスとの経営統合についてでございます。2021年10月、統合会社の新社名は株式会社マツキヨココカラ&カンパニーでございます。

グループ理念といたしましては、未来の常識を創り出し、人々の生活を変えていく、でございます。

グループのビジョンといたしまして、美しさと健やかさを、もっと楽しく、身近に。

3000店舗を超える拠点とデジタルを活用し、お客様、患者様のもっと身近な存在になりたいと考えています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

グループ経営目標 2026年3月期

グループ売上高 1.5兆円
営業利益率 7.0%

統合後のグループ体制



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved.

5

グループの経営目標、2026年3月期にグループ売上高 1.5 兆円、営業利益率 7%を目指します。

統合後のグループの体制であります。マツキヨココカラ&カンパニー新会社の下に、シナジー創出会社、MCC マネジメント、そして二つの事業会社により事業を運営し、ブランドは維持していく方針でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

経営体制（役員候補者）

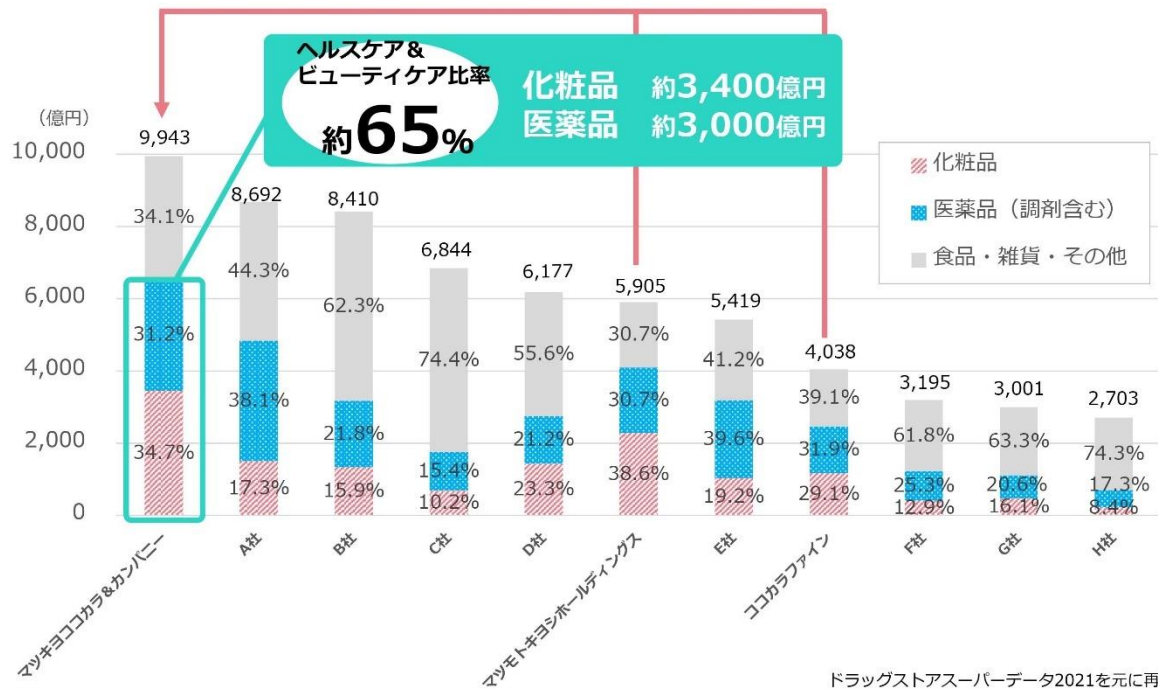
取締役	代表取締役会長 松本 南海雄 代表取締役社長 松本 清雄 代表取締役副社長 塚本 厚志	
	松本 貴志 大田 貴雄 小部 真吾 石橋 昭男	山下 功夫 大村 宏夫 木村 恵司 沖山 奉子
	山本 剛 渡辺 玲一 谷間 真 河合 順子	社外・独立 社外・独立 社外・独立 社外・独立
監査役		
本多 寿男 小池 徳子 渡辺 昇一		
鳥居 明		
社外・独立 社外・独立 社外・独立		

上記候補者は、①2021年6月29日開催予定のマツモトキヨシホールディングスの株主総会での再任を予定する候補者と、②マツモトキヨシホールディングスとココカラファインとの間で締結された2021年2月26日付株式交換契約が両社の定時株主総会において原案どおり可決され、かつ、株式交換の効力が発生することを条件として、本株式交換の効力発生日（2021年10月1日予定）に選任の効力が生ずる予定の候補者が含まれております。

新会社、経営体制につきまして、役員候補者とその構成につきましては、後ほど資料をご確認ください。

統合新会社の特徴

ドラッグストア業界（売上高、商品分類別構成比）



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved.

7

続いて、新会社の特徴でございますが、ドラッグストア業界全体の売上が概ね8兆円ございます。その中で、今度の新会社の位置付けは売上高において、概ね1兆円、店舗数におきましては3,200を超える店舗数となります。

業界においての上位10社での売上高シェアは75%ございます。新会社の特徴といたしましては、特にヘルスケア、そしてビューティーケア商品の売上高が、総売上高の65%を占める売上高となります。

このことは、ほかの会社との差異化と申しますか、ヘルスとビューティーのカテゴリーが大変強い会社が出来上がることになります。引き続き、私どもは美と健康の分野で生活者のお役に立ちたいと考え、さらにこの分野の成長を推進していきたいと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

統合新会社の特徴

調剤業界（調剤売上高）



ドラッグマガジン2020年8月号を元に再集計

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved.

8

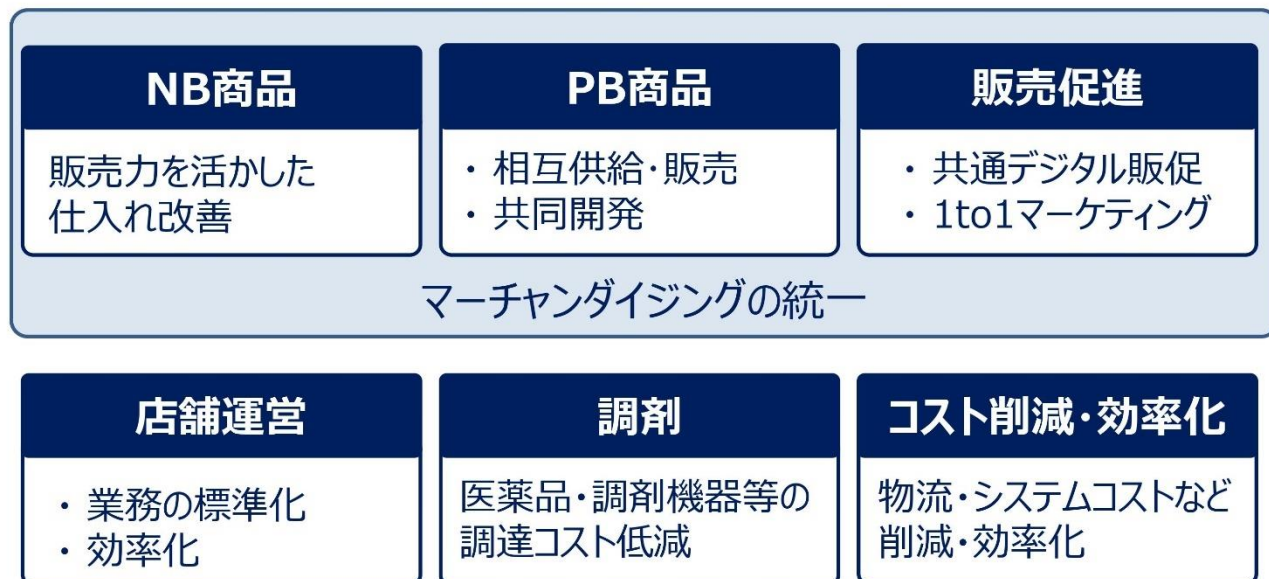
続いて、調剤事業の特徴についてお話をさせていただきます。調剤業界の売上高は全体で 7.7 兆円ございます。店舗数としては、概ね 6 万店舗、業界全体であります。上位 10 社での売上高シェアは 20% になります。両社の売上高は合算をいたしますと 1,142 億円と、1,000 億を超える規模となり、上位 7 番目という位置付けとなります。

将来において業界の再編を考えますと、まだまだ上位集中型になってない調剤業界において、今後調剤シェアを高めると同時に、成長のドライバーとして調剤分野に、より注力をしていくところであります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

経営統合に向けた取り組み



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved.

9

経営統合に向けた取り組みにおきまして、販売促進においてこれからのところではありますが、マーチャンドライジングの統一についてはすでに昨年10月より実施しております。

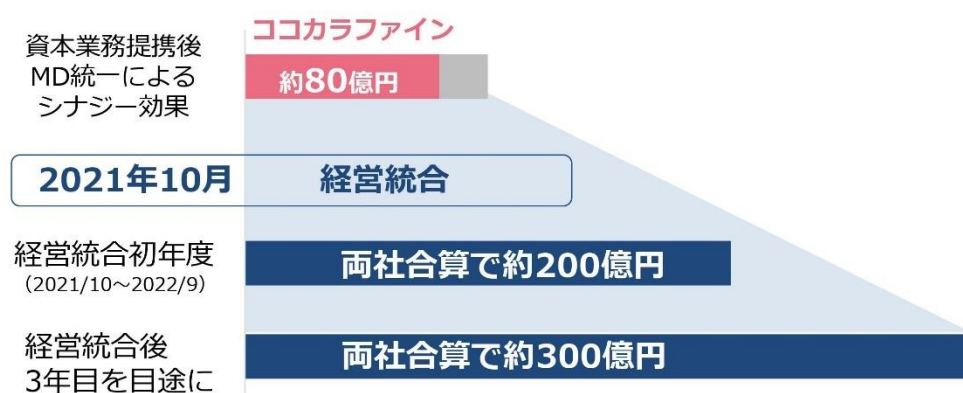
今後は運営の効率化、購買や物流・コストの削減・効率化を進めてまいります。このような取り組みを経て、シナジー効果として、ココカラファインとして年換算で80億円の利益改善を見込んでいます。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

経営統合によるシナジー効果の実現

- ▶ 資本業務提携後、MD統一等によるシナジー効果
ココカラファインで年換算約80億円の利益改善
- ▶ 経営統合後3年目までを目途に営業利益300億円規模の改善効果
そのうち経営統合初年度で（2021年10月1日～2022年9月30日）
営業利益約200億円のシナジー発現 いずれも両社合算



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 10

2021年10月の経営統合後、初年度で営業利益200億円、経営統合後3年目をめどに300億円のシナジーの発現を見込んでおります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

統合スキーム

株式交換

株式交換比率

マツモトキヨシHD：ココカラファイン

1 : 1.70

当社株式 1株に対して
マツモトキヨシHD普通株式 1.70株を
割当交付予定

ココカラファイン	アドバイザー名称
ファイナンシャルアドバイザー	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
法務アドバイザー	野村総合法律事務所
マツモトキヨシHD	アドバイザー名称
ファイナンシャルアドバイザー	大和証券
法務アドバイザー	アンダーソン・毛利・友常法律事務所

両社とも双方のファイナンシャルアドバイザーから算定書及び財務的見地から公正である旨の意見書（フェアネス・オピニオン）を取得しております。両社の取締役会いずれにおきましても、相手方の役員又は従業員を兼務する者がいない等、取締役会における意思決定の実施にあたって両社間で利益相反関係は生じておりません。

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 11

続いて、統合スキームでございますが、統合スキームは株式交換、当社株式 1 株に対して、マツモトキヨシホールディングス普通株式 1.7 株を割当交付する予定でございます。

以上、マツモトキヨシホールディングスとの経営統合についてご説明をさせていただきました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

三菱UFJモルガン・スタンレー証券（当社の第三者算定機関）による算定結果

2021年2月26日付プレスリリース「株式会社マツモトキヨシホールディングスと株式会社ココカラファインとの経営統合に関する経営統合契約の締結のお知らせ」より抜粋



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 12

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

環境

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響
 - 訪日外国人減少によるインバウンド関連需要の急減
 - 新しい生活様式により、家庭内で消費する日用品や衛生品は好調だったものの、化粧品カテゴリーは苦戦
 - 受診抑制による 処方せん枚数減少、処方期間の長期化
- ・薬価・診療報酬改定の影響

- PCR検査キットや抗原検査キット等の新しい需要への対応
- 「ECで購入した商品の店舗受け取りサービス」の対象店舗拡大

① ドラッグストア事業

- マツモトキヨシとのMD統一によるシナジー早期実現
- 子会社CFIZによる23店舗を含む52店舗の出店、28店舗の退店

結果 売上高 前年同期比 91.8%

② 調剤事業

- M&Aや調剤併設化による規模拡大で105店舗純増
- オンライン服薬指導への対応

結果 売上高 前年同期比 109.2%

③ 販売管理費

- 人件費コントロール
- 営業費の圧縮など

結果 販売管理費 前年同期比 99.8%

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 14

次に、2021 年度 3 月期決算概況、および主な取り組みについてご説明申し上げます。

2021 年 3 月期における主な環境要因といたしまして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響、訪日外国人減少によるインバウンド関連需要の急減、新しい生活様式により、家庭内で消費する日用品や衛生品は好調だったものの、化粧品カテゴリーは苦戦をいたしました。

受診抑制による処方せん枚数の減少、処方期間の長期化がありました。

調剤分野においては、薬価・診療報酬改定の影響を受けました。

全社的に対応した事柄として、PCR 検査キットや、抗原検査キット等の新しい需要への対応をいたしました。e コマースで購入した商品の店舗受け取りサービスの対象店舗を拡大いたしました。

ドラッグストア事業につきましては、マツモトキヨシとの MD 統一によるシナジーを早期実現することができました。子会社 CFIZ による 23 店舗の出店を含む、52 店舗の出店、28 店舗を退店いたしました。結果、売上高では前年同期比 91.8%となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

調剤事業につきましては、M&A や調剤併設化による規模拡大で 105 店舗の増加がありました。オンライン服薬指導への対応をいたしました。結果、売上高は前年同期比 109.2%となりました。後ほど、好調でありました調剤事業における取り組みにつきましてご紹介させていただきます。

全社的に、販売管理費におきましては人件費コントロール、それから営業費の圧縮などを行い、結果として販売管理費においては前年同期比 99.8%となりました。

TOPICS 調剤事業における取り組み



専門性の高い薬局づくり

敷地内薬局の展開

2018/4 和泉市立総合医療センター店 開局
2019/3 大阪国際がんセンター店 開局

2021/4 白十字病院店 開局（福岡）
2021/6 十善会病院店 開局（長崎）

今後の開局予定

2021/11 大田市立病院（島根）
2022/5 安佐市民病院（広島）
2022/6 済生会京都府病院（京都）
2023/4 大阪はびきの医療センター（大阪）



地域密着型のかかりつけ薬局づくり

健康サポート薬局の展開



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 15

調剤事業における取り組みにつき、ご説明申し上げます。まずは敷地内薬局の展開でございます。2018 年 4 月に和泉市立総合医療センター店を開局し、その後大阪国際がんセンター、そして白十字病院、そして来月、長崎の十善会病院の敷地内薬局を開局する予定となっております。

今後、開局の予定といたしましては、2021 年 11 月、島根の大田市立病院、2022 年 5 月、広島安佐市民病院、2022 年 6 月、済生会京都府病院、2023 年 4 月、大阪はびきの医療センターと、さらに敷地内薬局の出店を積極的に進めていきたいと考えてます。

一方、健康サポート薬局の展開におきましては、2021 年度 3 月末をもって 83 店舗となりました。2022 年度に合計で 100 店舗の健康サポート薬局が誕生する予定でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



病院との連携が必要とされる専門性の高い薬局と、地域密着型のかかりつけ薬局づくりを共に進めていきたいと考えています。

TOPICS 調剤事業における取り組み



お薬手帳アプリの活用



患者様の利便性向上

- ・お薬手帳の携帯性向上
- ・処方せん画像送信機能による待ち時間削減

2018年以降 ダウンロード数は加速

2021年3月
累計DL数
34万DL



処方せん画像 送信機能利用 件数も増加

2021年3月
(月間)
3.6万件

全処方せんの6.3%

お薬手帳アプリ ダウンロード数推移



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 16

続いて、調剤事業においてデジタル化の取り組みでございます。まず、お薬手帳アプリについてでございます。ダウンロード数は、2021年3月期、34万ダウンロードとなりました。そして、処方せん画像送信の3月における件数も3万6,000件となりました。

お薬手帳の携帯性向上、それから処方せん事前送信による待ち時間対策にも活用でき、患者様の利便性はさらに向上しております。

ダウンロード数、それから処方せん、画像送信も共に増加傾向でございます。コロナ禍において、さらに増加が予測されております。一層、アプリ会員数、それから処方せん、画像送信についても、その機能を患者様にご紹介を積極的にしていきたいと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

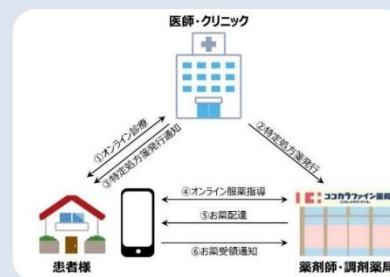


オンライン服薬指導への取り組み

2018年9月～
国家戦略特区（福岡市）にて
遠隔服薬指導を開始

メリット

- ・ 移動時間削減などの効率化
- ・ 最適な頻度でコミュニケーションがとれる



2020年5月～
医療機関でのコロナ感染拡大を防ぐ有力な機能として一部店舗で実施

2021年1月～
オンライン服薬指導サービス「curon」を全店舗に導入
コロナ禍で小児科を受診するお子様のご両親や、
感染に不安を感じながら精神科に通院する患者様などのニーズが大きい

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 17

続きまして、オンライン服薬指導への取り組みについてご説明申し上げます。

2018年9月、国家戦略特区として福岡市で遠隔服薬指導を開始いたしました。患者様の声として、移動時間削減など非常に効率化ができる、これは患者様、それから薬剤師の声も合わせてということになります。最適な頻度でコミュニケーションが取れるというメリットが挙げられております。

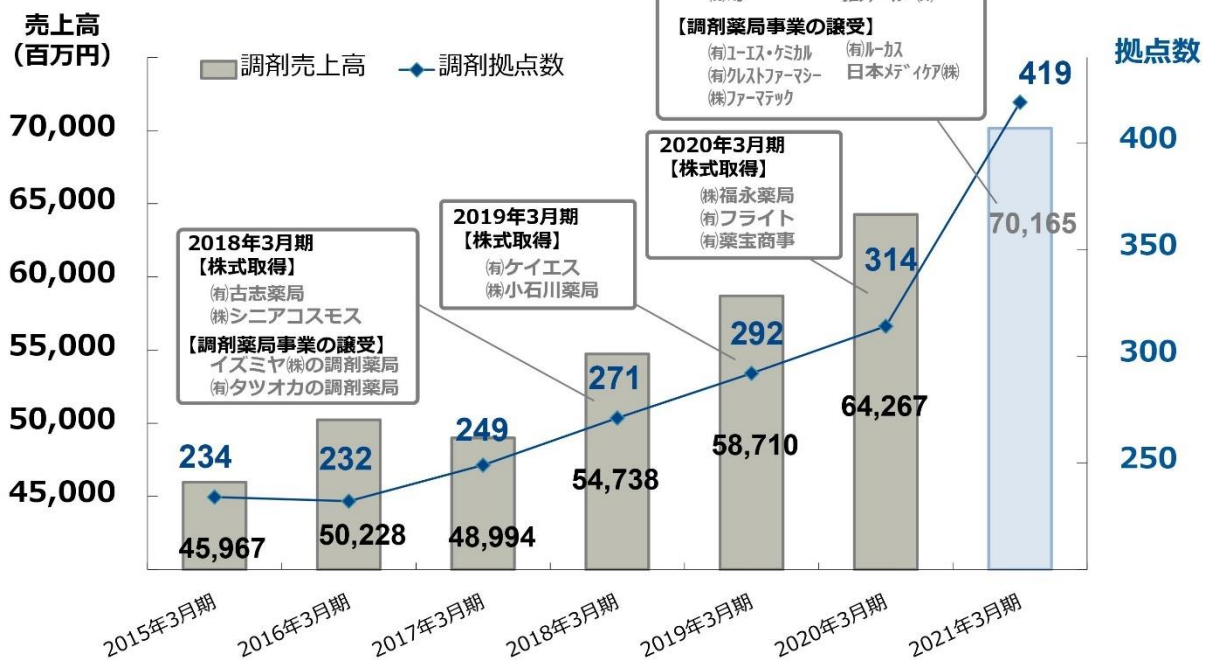
2020年5月から、医療機関でコロナ感染拡大を防ぐ有力な機能として一部店舗で実施をしました。そして、さらにこの2021年1月から全店でオンライン服薬指導サービス curon を導入いたしました。全店で現在、20件から30件レベルでの件数になりますが、実際に対応した店舗数は日に日に増加傾向となります。

今後は、法律改正等、さまざまな要素が関連してまいります。患者様の利便性、それから安全性を考慮しながら、このオンライン服薬アドバイス、指導につきましても積極的な取り組み姿勢で臨みたいと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

調剤売上高と調剤拠点数の推移



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 18

最後のスライドです。調剤の売上高と調剤拠点数の推移でございます。調剤分野におきましては成長分野として捉え、より一層注力してまいりたいと思います。

以上、私からマツモトキヨシホールディングスとの経営統合について、そして決算の概況、および主な取り組みについてご説明を申し上げます。ありがとうございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

売上高

売上高 366,440百万円
前年同期比 90.7% 修正計画比 96.0%

▶ドラッグストア既存店売上伸長率 修正計画 -4.0% → 実績 -9.1%

- ・新型コロナ影響
マスク・消毒薬等の特需、インバウンドを含む都市型店舗の売上減
風邪薬など冬物季節商材・年末商材の低迷

▶調剤既存店売上伸長率 修正計画 -0.2% → 実績 +0.1%

- ・薬価・診療報酬改定の影響
・処方せん枚数減(-8.8%)・処方せん単価増(+9.7%)

▶店舗数：116店舗純増（出店146・退店30）、スクラップ&ビルド推進

- ・エイチ・ツー・オー リテイリング(株)との合弁子会社(株)CFIZにより23店舗出店
・(株)フタツカホールディングス（69店舗）のグループ化
・調剤取扱店舗は、その他M&Aや調剤併設化による規模拡大で合計105店舗純増

売上総利益

売上粗利益 108,923百万円
前年同期比 97.2% 修正計画比 94.6%

▶ドラッグストア事業

売上総利益率は、前期比0.5ポイント改善し修正計画ベースには未達
（前期実績28.5%→修正計画29.7%→実績29.0%）

- ・(株)マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携によるMD統一で粗利改善
・コロナ影響の悪化によるカテゴリーミックス悪化

▶調剤事業

規模拡大施策により、売上総利益額は前期比111.0%

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 20

森：ココカラファインの森でございます。決算説明会、ご視聴いただきまして誠にありがとうございます。私からは決算の概要、重点施策の進捗状況、そして次期の見通しの順でご説明をさせていただきます。特に1年にわたりコロナ禍での業績変動ということになりますので、月ごとに変動していく状況についても、詳しくご説明をさせていただきます。

まずは、業績ハイライト、決算のポイントをご説明いたします。売上高につきましては、計画比96.0%でございます。冬場、想定以上に感染が拡大いたしまして客数も減少して、この時期、中核となる風邪薬などの冬物季節商材が低迷いたしました。

そしてドラッグストアは、年末の12月が一番売上の高い月でございますけれども、年末なのに客数が伸びない状況が続いて、年明けも回復しない状況でした。今、足元でようやく一巡感が出てきているということでございます。

調剤につきましては、月ごとに状況は変化いたしますけれども、総じて言いますと、処方せん枚数の減少と処方せん単価アップの傾向が続いております。ただ、売上高全体に及ぼす影響は軽微でありまして、ほぼ修正計画どおり、初めて700億円を超える規模となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

店舗数に関しましては、純増数は 116 店舗と、久しぶりに 100 店舗以上の大幅純増になります。
エイチ・ツー・オー様とのジョイントベンチャー、CFIZ による出店、そしてフタツカホールディングスのグループ化などによりまして、店舗数の増加となりました。

特に、調剤に関しましては、取扱店舗数が 314 店舗から、この 1 年で 105 店舗の純増で、期末店舗数は 419 店舗となりました。

そして、売上総利益率につきましては、ドラッグストア事業でマツモトキヨシホールディングスとの MD 統一のシナジー効果で、粗利改善ができました。

しかし、一方でコロナ影響による売上構成の変動でミックス悪化が起こり相殺された結果、前期比 0.5 ポイントの改善、29.0%となりました。

業績ハイライト



経常利益

経常利益 12,815百万円
前年同期比 82.0% 修正計画比 77.7%

- ▶販売管理費で修正計画比 約23億円の圧縮
(前期実績 987億円→修正計画 1,009億円→実績 985億円)
- ・店舗インフラ標準化を中心とする店舗作業の効率化
 - ・コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロール
 - ・改装投資のコントロール

親会社株主に帰属する 当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益 4,320百万円
前年同期比 52.2% 修正計画比 67.5%

▶特別損失

- ・(株)マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携によるMD統一に伴う
商品統合関連費用 見込み：50億円→実績：46億円
うち 商品評価損 見込み：43億円→実績：43億円
うち その他費用 見込み：7億円→実績：3億円

販管費につきましては、引き続き大幅圧縮、修正計画よりも 23 億円減少いたしまして、結果、経常利益は修正計画比 77.7%でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



当期純利益につきましてご説明をいたします。今回マツモトキヨシホールディングスとのシナジー効果を創出するために、物販のほぼ全店舗 1,200 店舗で MD の統一を行っておりまして、それに基づき全店の棚割変更を行いました。

中には棚落ちする商品も数多く出ますので、廃棄をする費用として 50 億円の特別損失を見積もってございました。結果、最終的には 46 億円と、見積もり以内に収まりました。純利益につきましては、43 億 2,000 万円でございます。

修正計画対比（P/L）



- ▶ コロナ影響の悪化により風邪薬など冬物季節商材・年末商材の低迷で
売上悪化、カテゴリーミックス悪化
- ▶ 販管費は、引き続き大幅圧縮

	2021年3月期 実績	2021年3月期 修正計画	修正計画 差異	計画比 (%)	(単位：百万円)
売上高	366,440 (100.0%)	381,600 (100.0%)	-15,160	96.0	▶ ドラッグストア・調剤既存店増収率変動 計画 -3.3% → 実績 -7.4% ・ コロナ影響の悪化で風邪薬など冬物季節商材・ 年末商材の低迷 ▶ 出店：修正計画142店舗 → 実績146店舗 閉店：修正計画 31店舗 → 実績 30店舗
ドラッグストア	274,908	290,385	-15,477	94.7	
調剤	70,165	70,380	-215	99.7	
卸売・介護	21,366	20,835	531	102.5	
売上総利益	108,923 (29.7%)	115,100 (30.2%)	-6,177	94.6	▶ ドラッグストア売上総利益率 修正計画29.7% → 実績29.0% ・ コロナ影響の悪化によりカテゴリーミックス悪化
販売管理費	98,575 (26.9%)	100,900 (26.4%)	-2,325	97.7	▶ コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロール ▶ 改装投資のコントロール
営業利益	10,348 (2.8%)	14,200 (3.7%)	-3,852	72.9	
経常利益	12,815 (3.5%)	16,500 (4.3%)	-3,685	77.7	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,320 (1.2%)	6,400 (1.8%)	-2,080	67.5	

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 22

計画比の具体的な数字はご覧のとおりでございます。売上総利益段階で、計画よりも 61 億円の未達幅ですけれども、販管費の圧縮、23 億円減少いたしまして、経常利益段階で計画比 36 億円の未達幅でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



- ▶コロナ影響による大幅減収
- ▶カテゴリーミックス悪化をMD統一による粗利改善がカバーし、ドラッグストアの売上総利益率は0.5ポイント改善

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	前期比 (%)	(単位：百万円)
売上高	403,875 (100.0%)	366,440 (100.0%)	-37,435	90.7	▶ドラッグストア・調剤既存店増収率変動 前期 -0.4% → 当期 -7.4% ・マスク・消毒薬等の特需 ・インバウンドを含む都市型店舗の売上減 ・風邪薬など冬物季節商材・年末商材の低迷 ・薬価・診療報酬改定の影響 ▶出店：146店舗 閉店：30店舗 ▶取引先店舗数減少による卸売減
ドラッグストア	299,352	274,908	-24,444	91.8	
調剤	64,267	70,165	+5,898	109.2	
卸売・介護	40,253	21,366	-18,887	53.1	
売上総利益	112,061 (27.7%)	108,923 (29.7%)	-3,138	97.2	▶ドラッグストア売上総利益率の改善 前期28.5% → 当期29.0% ・MD統一による粗利改善 ・コロナ影響の悪化によるカテゴリーミックス悪化
販売管理費	98,724 (24.4%)	98,575 (26.9%)	-149	99.8	▶店舗インフラ標準化を中心とする店舗作業の効率化 ▶コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロール ▶改装投資のコントロール
営業利益	13,336 (3.3%)	10,348 (2.8%)	-2,988	77.6	
経常利益	15,626 (3.9%)	12,815 (3.5%)	-2,811	82.0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,270 (2.0%)	4,320 (1.2%)	-3,950	52.2	▶MD統一に伴う棚卸資産廃棄46億円

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 23

前期比の詳しい数値比でございます。ここはコロナ禍で非常に比較しづらくなっておりますけれども、必要に応じてまたご覧いただきたいと思います。

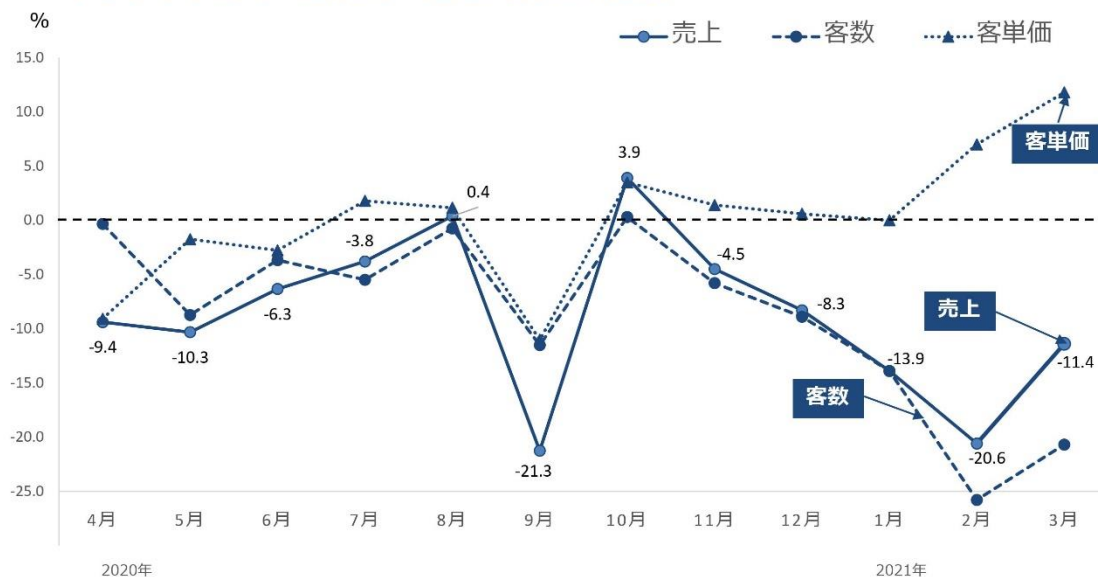
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

ドラッグストア事業 売上高

既存店（累計） 売上高 9.1%減 客数：9.0%減 客単価：0.1%減

ドラッグストア既存店 売上高伸長率推移



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 24

引き続きまして、コロナ禍でのさまざまな状況を月ごとに深掘りしてまいります。ご覧のグラフはドラッグストア物販における既存店の売上の推移でございますけれども、上半期は4月から徐々に回復傾向でしたが、冬場に入りまして感染拡大の影響もあって下降傾向。

特に、1月以降は、昨年コロナ特需が始まったところがございますので、その反動がございます。

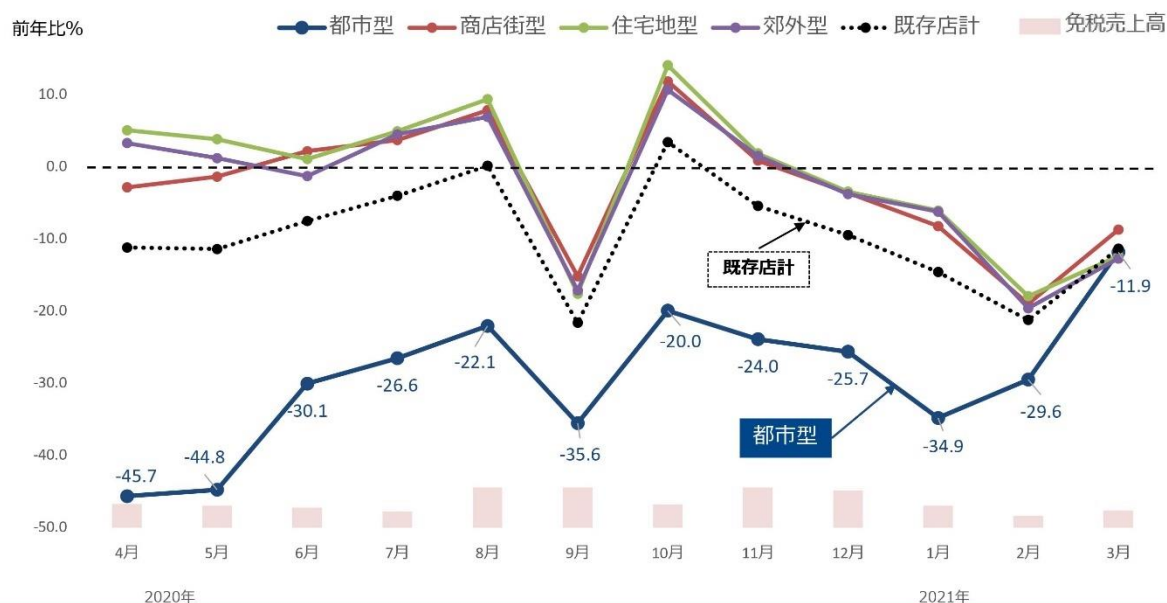
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

立地別前年対比と免税売上

コロナ影響により、インバウンドを含む都市型店舗は大幅売上減となり徐々に回復

ドラッグストア既存店 立地別売上高伸長率推移



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 25

この期間を店舗立地別に分解すると次のグラフでございます。店舗立地別で大きく押し下げているのは都市型店舗でございます。この都市型店舗は全体の17%の店舗数のシェアを占めており、通期にわたりインバウンドの需要減と同時に売上が減少しております。

そして、他の商店街型店舗であるとか、住宅地型店舗、郊外型店舗、そういった店舗は影響が少なかったですが、冬場以降は冬物商材が非常に弱いために、さすがに下降トレンドになっているということでございます。しかし、足元では一巡感が出てきた状況でございます。

サポート

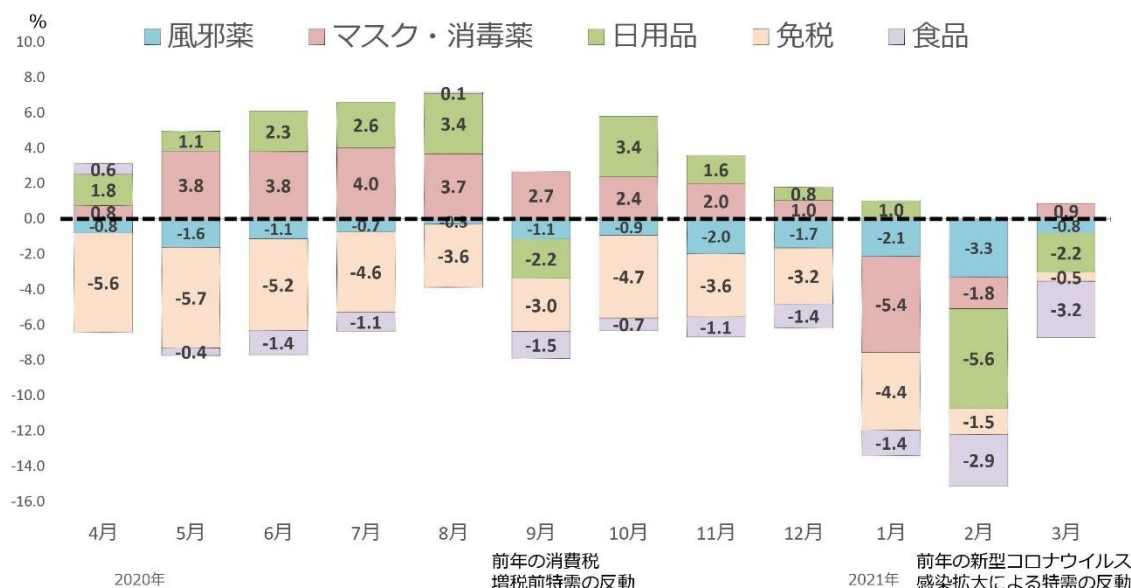
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

カテゴリー別 既存店増収率の押上げ・押下げ影響

風邪薬の押下げ影響は冬場に最大化

免税の押下げ影響、日用品の押上げ影響は4Q以降は一巡

ドラッグストア既存店増収率 押上げ・押下げ影響



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 26

さらに既存店をカテゴリー別に、何が押し上げてきたか、何が押し下げてきたかというご説明でございます。

ブルーの風邪薬に関しましては、1年を通じて売上高前期比は60%台が続いておりました。皆さん風邪を引かなかった状況でございます。しかし、同じ前期比60%台といいましても、夏場と冬場の風邪薬の売上構成が大きく異なっておりまいます。

従って、冬の風邪薬の押下げ度合いが非常に大きくなるという状況でございます。また、マスク・消毒薬、そして日用品、そういったカテゴリーにつきましては、夏場、コロナ禍で押し上げてきましたけれども、1月以降は一転しまして昨年のコロナの急激な特需の反動減で、大きく押下げ要因になっているということでございます。

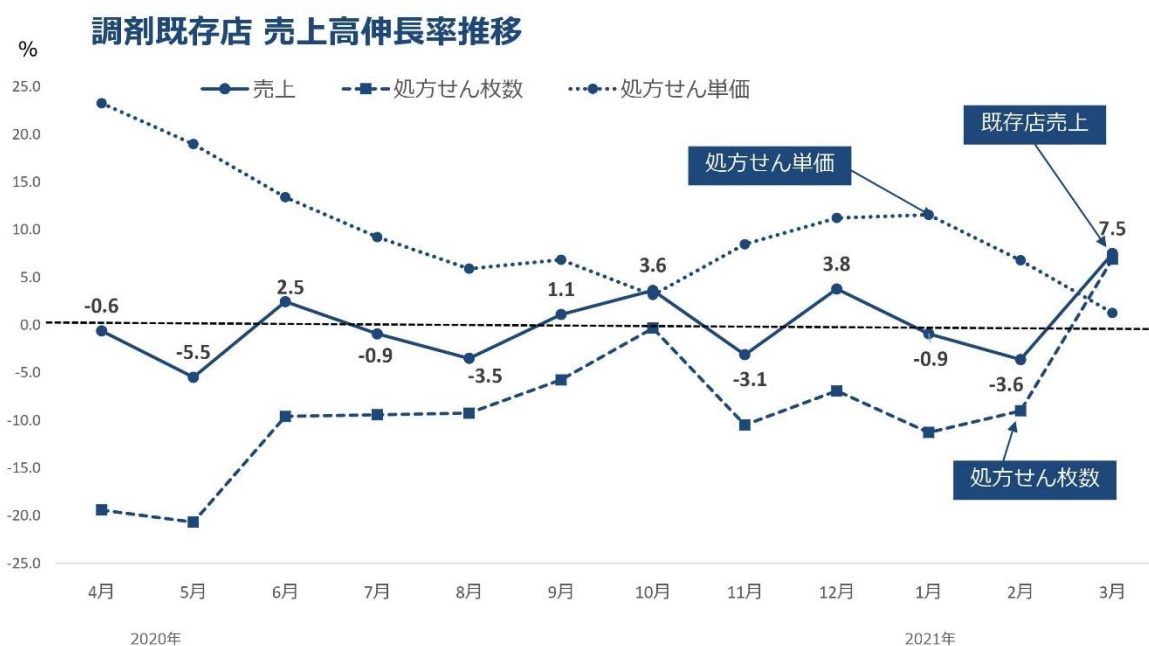
そして、免税売上に関しましては、年間を通じて大きく押し下げてきましたけれども、2月を境に一巡感が出てきているということでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

調剤事業 売上高

コロナ影響により、処方せん枚数の大幅減、処方せん単価大幅増が続いたが回復傾向へ



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 27

調剤の既存店につきましては、1年を通じて処方せん枚数の減少と、処方せん単価アップの状況が顕著に見られる状況でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

	2020年3月期			2021年3月期		
	売上金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	売上金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
医薬品	115,734	31.8	103.8	113,336	32.8	97.9
うちOTC	51,466	14.2	97.5	43,171	12.5	83.9
うち調剤	64,267	17.7	109.5	70,165	20.3	109.2
化粧品	105,781	29.1	97.9	89,227	25.9	84.4
健康食品	10,243	2.8	93.9	8,929	2.6	87.2
衛生品	42,449	11.7	105.4	44,044	12.8	103.8
日用雑貨	49,337	13.6	103.2	52,139	15.1	105.7
食品	40,074	11.0	101.2	37,396	10.8	93.3
全店計	363,620	100.0	101.5	345,074	100.0	94.9
卸売	37,024	-	94.3	17,932	-	48.4
小計	400,645	-	100.8	363,007	-	90.6
介護	3,254	-	102.8	3,458	-	106.3
※セグメント間取引消去	(24)	-	-	(25)	-	-
全社計	208,175	-	103.8	366,440	-	90.7

■ ドラッグストア事業

- ・コロナ影響により、ヘルス&ビューティ（OTC医薬品・化粧品・健康食品）の構成比減少
カテゴリーミックス悪化→MD統一による粗利改善がカバー
- ・衛生品（マスク・消毒薬等）は構成比増加

■ 調剤事業

- ・M&A等の規模拡大施策により調剤売上構成比増加

■ 卸売

- ・取引先店舗数の減少

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 28

商品分類別の売上構成でございます。ドラッグストア事業ではヘルス&ビューティー、OTC 医薬品であるとか、化粧品であるとか、健康食品、そういった高付加価値商品の売上構成が減少しております。

また、調剤事業につきましては、規模拡大施策により引き続き増加しておりまして、初めて 700 億円を超える規模になりました。

そして、卸売につきましては下期より取引先店舗数の減少がございまして、売上高も落としております。ただ、これにつきましては利益に及ぼす影響は軽微でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

売上総利益推移 ドラッグストア事業【全店】



(単位：百万円)

売上総利益率は29.0%となり、売上総利益率は前期比0.5ポイント改善				
	2020年3月期	2021年3月期	前期比	増減
売上	299,352	274,908	91.8	-24,444
売上総利益額	85,434	79,625	93.2	-5,809
売上総利益率	28.5	29.0	-	+0.5ポイント

売上総利益額
(単位：百万円)

売上総利益率(%)



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 29

ここからは、粗利益のご説明でございます。ご覧のグラフは、ドラッグストア事業の物販だけを取り出した四半期ごとの粗利益の推移でございます。コロナ禍で売上がふるわない中で、ミックス悪化で粗利率が減少する局面ではございますけれども、下期における MD 統一の効果と相まって、結果的には通期の粗利率は 0.5 ポイントの改善になりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



(単位：百万円)

コロナ禍、薬価・診療報酬改定下でも、売上総利益は金額ベースで前期比 111.0%				
	2020年3月期	2021年3月期	前期比	増減
売上	64,267	70,165	109.2	+5,898
売上総利益額	25,208	27,987	111.0	+2,779
売上総利益率	39.2%	39.9	-	+0.7ポイント



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 30

次は、調剤でございます。薬価の妥結状況であるとか、月ごとのコロナの影響によって、四半期ごとの状況は非常に見にくくなっておりませんが、通期の実績といたしましては前期比 111.0%、27 億円の増加で、調剤は引き続き実額ベースで安定した粗利額を確保することができました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

既存店 ココカラファインヘルスケア(ドラッグストア・調剤)
・コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロールし、販管費大幅圧縮

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	前期比 (%)
販売管理費合計	79,135 (23.2%)	74,331 (23.9%)	-4,804	93.9
人件費	39,367 (11.6%)	38,026 (12.2%)	-1,341	96.6
賃借料	23,332 (6.9%)	22,438 (7.2%)	-894	96.2
営業費	4,589 (1.3%)	3,731 (1.2%)	-858	81.3
水道光熱費	3,022 (0.9%)	2,644 (0.9%)	-378	87.5
減価償却費	2,970 (0.9%)	2,473 (0.8%)	-497	83.3
その他	5,854 (1.7%)	5,019 (1.6%)	-836	85.7



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 31

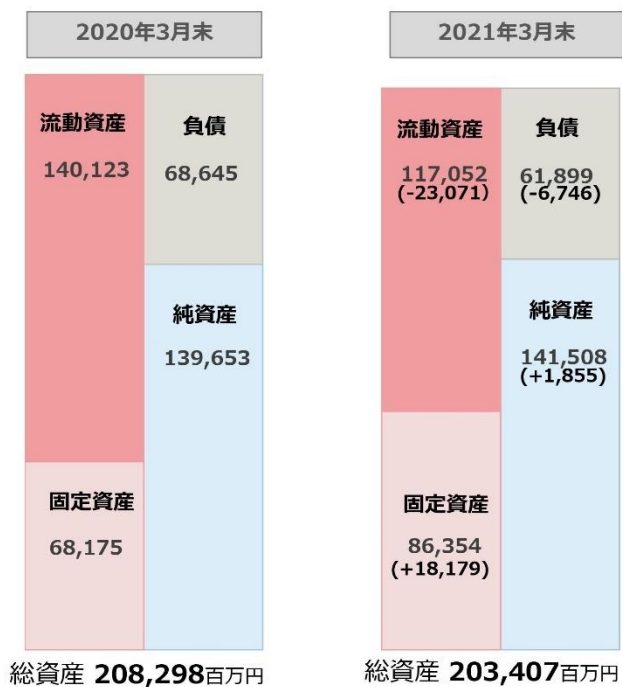
次は、既存店ベースの販管費でございます。売上が弱いために販管費率は悪化しておりますが、販管費の実額ベースでは大幅圧縮、前期比 48 億円の減少と、コントロールすることができているということでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

2020年3月末との比較

(単位：百万円)



2020年3月末との比較

(単位：百万円)

流動資産	-23,071
現金及び預金	-21,742
売掛金	-3,382
たな卸資産	+3,614
未収入金	-1,538
固定資産	+18,179
有形固定資産	+2,078
無形固定資産	+14,867
投資その他の資産	+1,232
負債	-6,746
買掛金	-6,854
未払法人税等	-2,027
純資産	+1,855
利益剰余金	+1,436
自己株式	+250

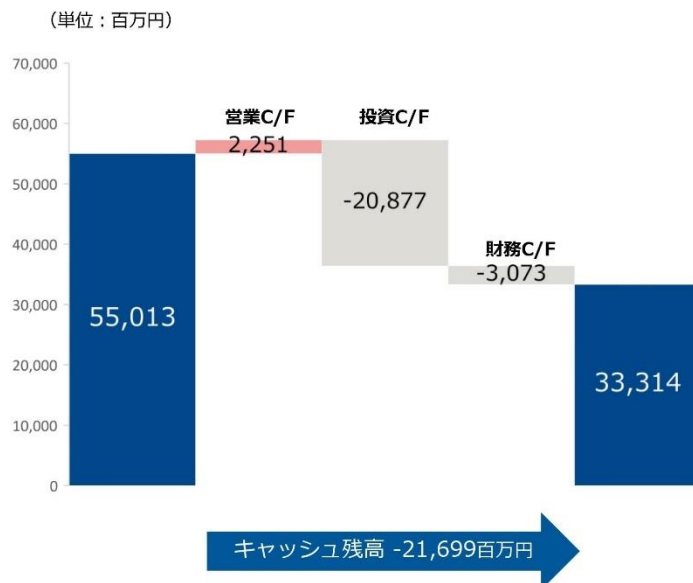
Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 32

B/S、およびキャッシュフローにつきましては、M&A を積極的に行ってまいりましたので、それによる現預金等の変動などはございますけれども、それ以外、特段ご説明するところはございません。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

2021年3月期



(単位：百万円)

営業キャッシュフロー

税金等調整前当期純利益	7,480
売上債務の増減額 (△は増加)	5,957
商品統合関連費用	4,600
減価償却費及びその他の償却費	4,125
未収入金の増減額 (△は増加)	1,851
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,865
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,835
法人税等の支払額	△5,260

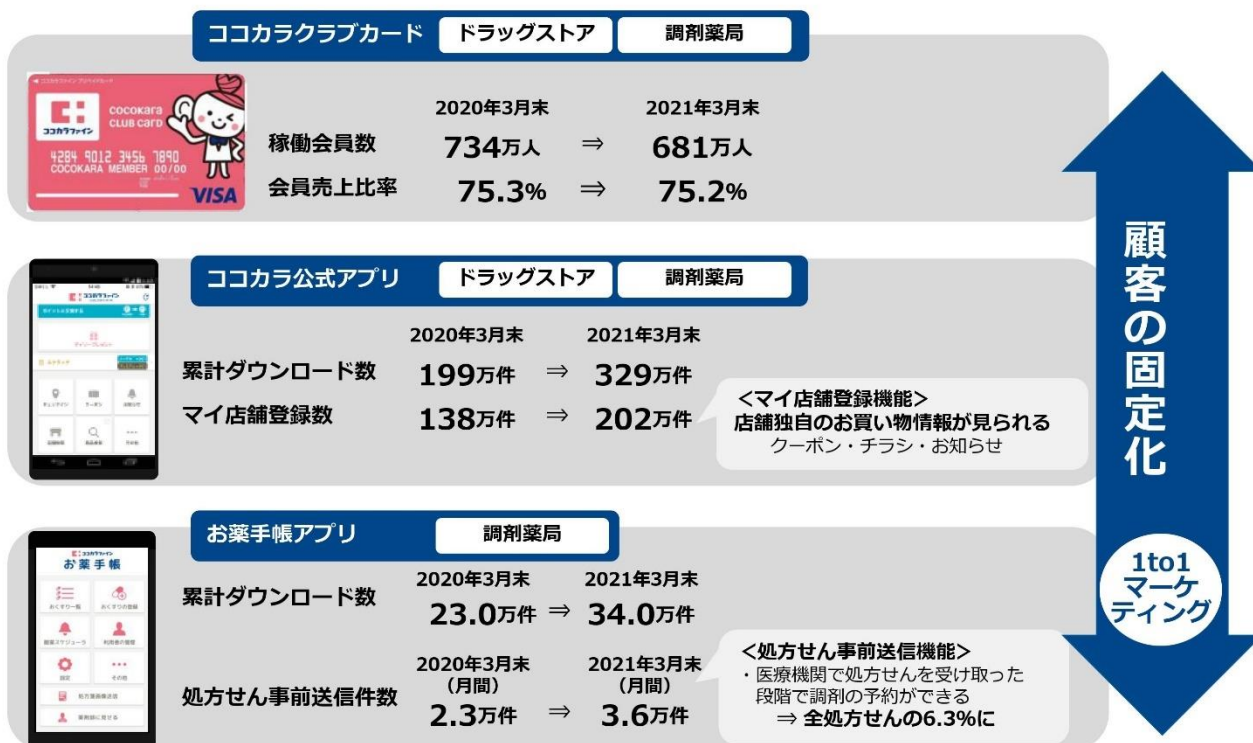
投資キャッシュフロー

連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△13,519
有形固定資産の取得による支出	△4,650
敷金の差入による支出	△1,323
無形固定資産の取得による支出	△981

財務キャッシュフロー

配当金の支払い額	△2,883
----------	--------

ココカラクラブカードと2つのアプリによる顧客数増大



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 35

コロナ対応で、思うように販促も打てないこともありましたが、そんな中でこれまでお話ししてきた重点施策の進捗状況について、ご説明をさせていただきます。

顧客戦略につきましては、コロナ禍で客数減となっておりますので、稼働会員数は減少しておりますが、会員売上比率は 75.2%と高水準を維持することができております。

また、ココカラ公式アプリは 329 万件、そして先ほど塚本からもありましたけれども、お薬手帳アプリは 34 万件と、引き続き伸ばすことができております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

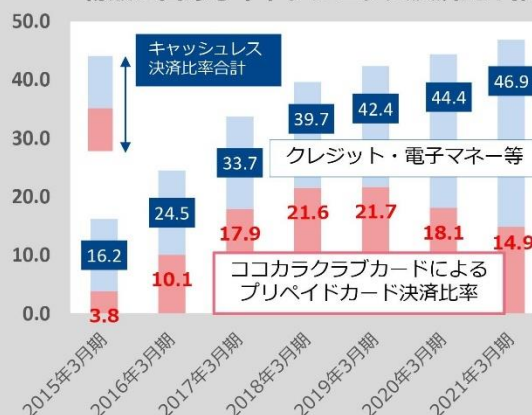
共通ポイントサービスの導入

- ・ 楽天ポイントカード（2019年10月）
- ・ dポイント（2020年7月）



多様な決済方法への対応

(単位：%) 物販に占めるキャッシュレス決済比率推移



EC購入商品の店舗受け取りサービスの対象店舗拡大

2020年7月
全国1,000店舗
以上に拡大

2021年3月
調剤専門店も対象となり
対象店舗は 1,334店舗に



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 36

個別施策といたしましては、7月にdポイントの導入を行い、より全方位営業を進めました。右側、キャッシュレス比率は47%の水準となりました。今後、固定化を行うフェーズに進んでまいります。

また下段のところですが、コロナ禍、接触を防ぐということで、ネットで注文した商品を店舗で受け取る機能も、調剤を含む全店舗に導入をいたしました。引き続き、店舗とデジタルの融合を促進してまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

出退店実績・計画（上期）



		2020年3月期 実績		2021年3月期 実績		2022年3月期 上期計画	
			内調剤 取扱店		内調剤 取扱店		内調剤 取扱店
出店※	ドラッグストア	+29	+7	+52	+13	+24	+9
	調剤専門店	+19	+19	+94	+94	+6	+6
		+48	+26	+146	+107	+30	+15
退店	ドラッグストア	-54	-1	-28	0	-13	0
	調剤専門店	-3	-3	-2	-2	-1	-1
		-57	-4	-30	-2	-14	-1
業態変更	ドラッグストア	-2	-2	-1	-1	-	-
	調剤専門店	+2	+2	+1	+1	-	-
		-	-	-	-	-	-
期末店舗	ドラッグストア	1,145	114	1,168	126	1,179	135
	調剤専門店	200	200	293	293	298	298
		1,345	314	1,461	419	1,477	433
改装店舗数 (看板変更・小改装含む)		78		42		93	
(内500万円以上)		34		10		34	

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 38

以上を踏まえまして、次期の見通しについてご説明をいたします。10月にマツモトキヨシホールディングスとの経営統合も控えておりますので、今回の見通しにつきましては統合前、9月末までの上期の見通しについてのご説明ということでございます。

まずは出退店と改装店舗数の状況ですけれども、21年3月期はM&Aを含めて146店舗の出店を行いまして、100店舗以上の純増になりました。次期、上期の計画は30店舗の出店に抑えて、14店舗の退店で、16店舗の純増でございます。

そして一番下、改装店舗数をご覧ください。21年3月期はコロナ禍、改装投資を抑制してまいりましたがけれども、一転大きく増加となります。年間42店舗の改装を行ってまいりましたけれども、今期は半年で93店舗の改装計画でございます。年換算では、実質4倍以上の改装店舗数でございます。

これまで、MD統一によるシナジー効果で、ドラッグストア全店で利益改善ができる体制を整えてまいりました。その上で、郊外型店舗であるとか、住宅地型店舗、そういった店舗に関しまして

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



は、さらに品ぞろえを広げてアイテム数を増やして、来店頻度を高めることに重点を置く改装を進めていきたいと考えております。

設備投資 実績・計画（上期）



（単位：百万円）

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 上期計画	（ご参考） 2021年3月期 上期実績
設 備 投 資	8,871	4,819	2,868
合 計	8,857	8,115	3,190
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,320	5,600	1,121
減 価 償 却	4,125	2,012	1,962
のれん償却	412	503	107

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 39

設備投資計画につきましてご説明をいたします。出店数は減少になりますけれども、改装投資を積極的に行いまして、設備投資額は上半期で48億1,900万円を計画しております。内訳といたしますと、新店が29億円、改装が10億円、システムや物流その他が9億円でございます。

特に、改装投資につきましては、前上期で1億5,000万程度という形でございますので、そこが10億円になることで6倍以上の投資になります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 上期計画			(ご参考) 2021年3月期 上期実績
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前期比 (%)	増減	金額 (百万円)
売上高	366,440 (100.0%)	193,200	100.7	+1,310	191,889
ドラッグストア・調剤	345,074	188,990	108.3	+14,541	174,450
卸売・介護	21,366	4,209	24.1	-13,232	17,439
売上総利益	108,923 (29.7%)	62,200 (32.2%)	115.8	+8,495	53,705 (28.0%)
販売管理費	98,575 (26.9%)	54,500 (28.2%)	113.0	+6,291	48,209 (25.1%)
営業利益	10,348 (2.8%)	7,700 (4.0%)	140.1	+2,204	5,496 (2.9%)
経常利益	12,815 (3.5%)	8,600 (4.5%)	130.6	+2,017	6,583 (3.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,320 (1.2%)	5,600 (2.9%)	499.3	+4,478	1,122 (0.6%)

Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 40

以上を踏まえまして、次期上期の見通しについてご説明をします。

売上高は 1,932 億円と微増収計画でございます。内訳といたしまして、本業のドラッグストア・調剤では 145 億円の増収、逆に卸売に関しましては、取引先店舗数の減少要因が当上期まで続きますので 132 億円の減収となります。トータルで 13 億円の微増収計画でございます。

従いまして、ドラッグストア・調剤のところに書かれた 108.3%が、増収率の実態の姿と見ていただいて結構かと思えます。

既存店の前提といたしましては、ドラッグストアと調剤でプラス 0.4%でございます。内訳として、ドラッグストア事業は前期の日用品特需のハードルが高いために、マイナス 0.2%でございます。また、調剤事業につきましては、前期はコロナ影響が最悪期となりますので、ハードルが低いためにプラス 3.2%を想定しておりまして、合計でプラス 0.4%でございます。

売上総利益率につきましては、前年同期と比較いたしますと 4.2 ポイントの上昇となっておりますが、先ほどご説明いたしました卸売の売上構成比が減少することにより、実態以上に粗利率が高く、良く見えてしまうという、そういった要因でございます。ここは実態ベースでご説明いたしま

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

すと、ドラッグストア物販の粗利率は前上期 28.4%から 30.2%と、1.8 ポイント改善幅ということ
でございます。前期行いました MD 統一のシナジー効果が、今上期まで続くことを想定しており
ます。

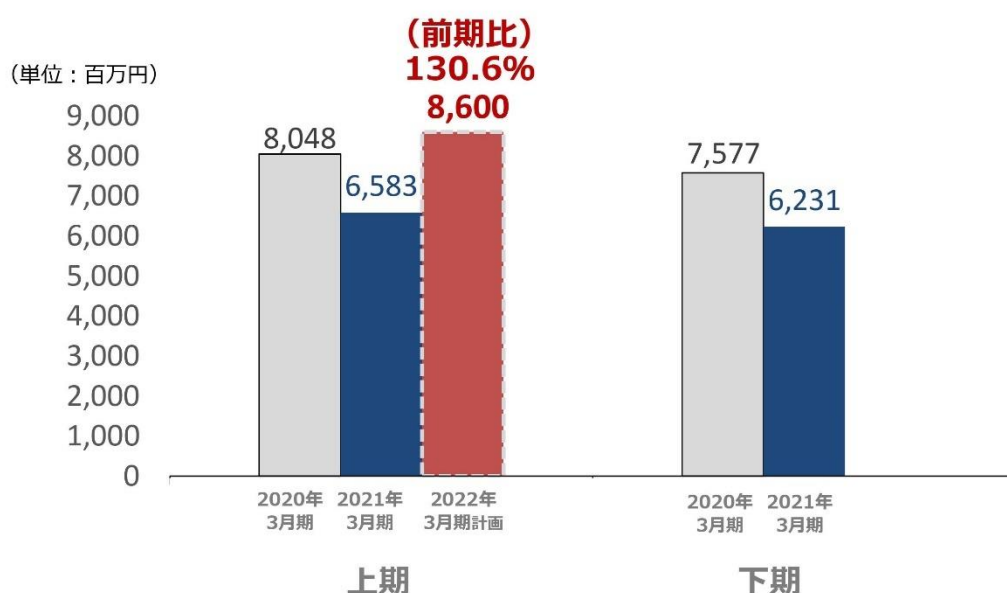
販管費につきましては、引き続き店舗作業の効率化を進めることをベースに、改装投資などの先行
投資が上乗せされる形でございます。

以上の結果、営業利益 77 億円、経常利益 86 億円、四半期純利益 56 億円と、微増収、大幅増益計
画になります。

連結業績の見通し（上期）



【経常利益】 半期ごとの経常利益推移



Copyright 2021 cocokarafine Inc. All Rights Reserved. 41

コロナ禍で業績が非常に見にくくなっておりますので、経常利益ベースでの 3 期間の推移をまとめ
ております。主に左側、上期のグラフのところ、上期計画は昨年よりも増益計画になりますけれど
も、ほぼコロナ前であった前々期 80 億 4,800 万円よりも増益となる水準でございます。

以上、決算の概要を中心にご説明いたしました。決算説明会、ご視聴いただきまして誠にありがと
うございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

